

小・中学校においては「道徳」の時間が特設されてから6年目をむかえた今日、各学校における指導体制も一応整い、かつ各地区での自主的研究団体の研究活動もようやく活発となってきている。しかし、一般的に考察するときなおいくつかの問題が見いだされる。年間指導計画を改善して指導のねらいを的確にすること、適切な資料を整備することなど今後の問題として残されている。

高等学校においては昭和38年度から新教育課程が実施されるとともに「倫理、社会」も実施にはいったわけであるが、実際に授業が行なわれるのは明年度からであり、その基礎研究が自主的に取りあげられている。

本年度は文部省において各県に道徳教育研究学校を指定したが、本県でも小・中学校それぞれ2校ずつ計4校指定をうけ、実践的な研究を推進しつつある。また、文部省、県教委共催して東日本地区道徳教育講習会が開催され、一流の中央講師による講義と会場校の充実した実演授業は参加者に多大の感銘を与え、道徳教育進展のうえに大きく寄与するものと考えられる。

本年度県教委主催にかかる研究会ならびに講習会は次のとおりである。

(1) 小学校教育課程研究集会道徳部会

① 研究主題

(共通問題) 中学年における道徳指導上の問題についての研究—特に読み物利用の指導を中心にして。

(県問題) 資料の収集、整理とその活用をどのようにしたらよいか。

② 期日 7月29日(月)、30日(火)の2日間

③ 会場 県北、県中、県南、会津、石城、相双の6地区

(2) 中学校教育課程研究集会道徳部会

① 研究主題

(共通問題) 道徳の時間の指導の効果をあげるためには、学級活動との間にどのように関連をはかったらよいか。

(県問題) 資料の集取、整理とその活用をどのようにすればよいか。

② 期日 7月31日(水)、8月1日(木)の2日間

③ 会場 県北、県中、県南、会津、石城、相双の6地区

(3) 東日本地区道徳教育講習会

① 期日 11月5日(火)、6日(水)、7日(木)の3日間

② 会場 信夫郡飯坂町

全体会・部会～飯坂小学校

部会～湯野小学校、大鳥中学校、中央公民館、福島県婦人会館

③ 参加範囲ならびに参加者数

北海道、東北、関東、甲・信・越、静岡の18都道県

④ 参加者 小・中学校の教員のうち都道県教育委員会が推薦するもの600名

⑤ 全体講演「現代の道徳観と道徳教育」国立教育研究所長 平塚益徳

⑥ 部会主題ならびに講師

第一部会 道徳教育の全体計画とその指導、他領域との関連 (小) お茶の水女子大学助教授 宮田 丈夫
(中) 広島大学教授 内海 巖

第二部会 道徳の年間指導計画

(小) 国立教育研究所指導普及部長 小沼 洋夫
(中) 文部省中等教育課教科調査官

飯田 芳郎

第三部会 道徳の指導方法

(小) 東京都教育大学教授 鈴木 清
(中) 東京都教育庁指導部第四課主査

宇留田敬一

一般講師 文部省初等教育課長 西村 勝己
同 教科調査官 青木 孝頼

同 井沢 純

同 事務官 平島 明

⑦ 実演授業

飯坂町立飯坂小学校

学年	主 題	指導者
1の2	やくそく	渡 辺 敏 子
2の4	みんなで使うもの	斎 藤 輝
3の3	なかまはずれ	赤 井 サト子
4の4	だいじなからだ	郡 司 次 男
5の2	そ う じ	門 馬 勇
6の3	大きな愛情	坂 田 芳 雄

飯坂町立湯野小学校

1の3	わすれもの	根 本 敬 子
4の3	やくそく	菅 野 英 子
6の2	わたしの尊敬する人	森 次 朗

飯坂町立大鳥中学校

1の2	望ましい家庭生活	斎 藤 健 次
1の4	自分の長所と短所	長 沢 セ ッ
2の3	男女の協力	菅 原 信 治
2の5	わたしの悩み	安 斎 満 里子
3の1	自己をみつめて(反抗心)	菅 野 五 郎
3の2	自己をみつめて(利己主義と競争心)	熊 坂 金 典

(4) 文部省道徳教育研究学校

① 白河市立五箇小学校

ア 校長名 吉田三郎

イ 研究主題 道徳教育において資料、特に視聴覚教具教材をどのように整備し活用したらよいか

② 平市立平第一小学校